平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名　アトミクス株式会社　　上場取引所　大
コード番号　4625　URL　http://www.atomix.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小林　和幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長　(氏名) 喜多　幸一　TEL 03-5297-1801

四半期報告書提出予定日　平成23年11月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,428	△4.4	△10	―	△19	―	△37	―
23年3月期第2四半期	4,631	△3.9	△7	―	△18	―	△82	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△17百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△111百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△4.42	―
23年3月期第2四半期	△9.82	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,898	8,765	68.0
23年3月期	13,518	8,867	65.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　8,765百万円　23年3月期　8,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	10.00	10.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,560	4.2	240	15.8	240	23.1	90	332.7	10.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	9,440,000 株	23年3月期	9,440,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	997,940 株	23年3月期	997,940 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,442,060 株	23年3月期2Q	8,442,060 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… ２
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… ２

２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… ３
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… ３
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ３
（３）追加情報 …… ３

３．四半期連結財務諸表 …… ４
（１）四半期連結貸借対照表 …… ４
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… ６
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… ８
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、サプライチェーンの修復などにより生産活動は持ち直しつつありますが、民間設備投資や官公庁工事が一部先送りされるなど市場の縮小傾向が続き、未だ先行きが不透明な状況が続いています。このような状況のもと、当社グループは道路、建築、家庭の主力３分野において、高付加価値製品の拡販に注力するとともに、原材料の見直し、生産コストの低減、及び経費節減に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高44億28百万円（前年同期　売上高46億31百万円）、営業損失10百万円（同　営業損失７百万円）、経常損失19百万円（同　経常損失18百万円）、四半期純損失37百万円（同　四半期純損失82百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

＜塗料販売事業＞

東日本大震災後、設備投資に回復基調がみられ建築用塗料分野につきましてはやや前年を上回りましたが、一般消費者の購買意欲の慎重姿勢が未だ回復せず、官公庁工事においても発注の先送りが響き、家庭塗料分野、道路塗料分野におきましては前年を下回りました。この結果、当第２四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期間に比べて１億52百万円減少し、43億９百万円（前年同期比3.4％減）となりました。

＜施工事業＞

子会社（アトムテクノス株式会社）による路面標示工事、高速道路のコンクリート剥落防止工事の受注が減少しました。この結果、当第２四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期間に比べて50百万円減少し、１億18百万円（同　29.7％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は128億98百万円（前連結会計年度末比６億19百万円減少）となりました。これは主に流動資産の減少によるもので、商品及び製品と仕掛品で３億49百万円増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金で９億64百万円減少したためです。

当第２四半期連結会計期間末の負債は41億33百万円（同　５億17百万円減少）となりました。これは主に流動負債の減少によるもので、支払手形及び買掛金、未払法人税等及び引当金で、５億85百万円減少したためです。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は87億65百万円（同１億２百万円減少）となりました。これは主に利益剰余金からの配当（84 百万円）によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災以降、回復の兆しが見えてきましたが、依然として円高が続き、又今後の電力需要の見込みも不透明な状態になっています。輸出関連企業の業績の停滞、民間企業の設備投資への慎重な姿勢が見受けられ、今後も厳しい状況が続くと予想されます。第２四半期において、塗料原材料の値上がりに対応するため経費節減・コスト削減を徹底するとともに、販売価格の改定を進めてまいりましたが、第３四半期以降にこれらの対策が利益面に反映されると見込んでいます。この結果、平成24年３月期の通期の業績予想は、本日、別途発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、一部の連結子会社においては、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しています。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,762,679	2,615,398
受取手形及び売掛金	4,137,016	3,319,757
商品及び製品	850,348	927,732
仕掛品	222,352	494,883
原材料及び貯蔵品	512,488	510,861
その他	267,187	300,118
貸倒引当金	△141,300	△111,227
流動資産合計	8,610,771	8,057,523
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,744,050	2,744,050
その他（純額）	1,434,754	1,362,754
有形固定資産合計	4,178,805	4,106,805
無形固定資産	141,805	137,578
投資その他の資産	587,033	596,919
固定資産合計	4,907,644	4,841,303
資産合計	13,518,416	12,898,827
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,801,690	2,393,296
短期借入金	387,844	342,844
未払法人税等	101,569	18,032
引当金	203,679	110,527
その他	390,038	584,410
流動負債合計	3,884,821	3,449,111
固定負債		
長期借入金	285,780	214,358
退職給付引当金	264,928	264,090
引当金	126,727	114,771
資産除去債務	37,844	38,116
その他	50,430	52,748
固定負債合計	765,709	684,084
負債合計	4,650,530	4,133,195

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,546,757	7,425,015
自己株式	△380,175	△380,175
株主資本合計	8,886,981	8,765,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,420	43,908
為替換算調整勘定	△53,516	△43,516
その他の包括利益累計額合計	△19,096	391
純資産合計	8,867,885	8,765,631
負債純資産合計	13,518,416	12,898,827

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高		
商品及び製品売上高	4,462,438	4,309,657
工事売上高	169,103	118,849
売上高合計	4,631,541	4,428,506
売上原価		
商品及び製品売上原価	3,036,347	2,983,260
工事売上原価	156,885	104,648
売上原価合計	3,193,232	3,087,908
売上総利益	1,438,309	1,340,598
販売費及び一般管理費	1,445,646	1,350,729
営業損失（△）	△7,337	△10,131
営業外収益		
受取利息	127	182
受取配当金	2,803	3,087
受取家賃	―	2,330
受取保険金	4,880	―
その他	5,542	3,062
営業外収益合計	13,352	8,664
営業外費用		
支払利息	7,289	5,187
為替差損	17,152	10,522
貸倒引当金繰入額	―	2,200
その他	―	5
営業外費用合計	24,442	17,916
経常損失（△）	△18,426	△19,382
特別利益		
貸倒引当金戻入額	45,352	―
特別利益合計	45,352	―
特別損失		
固定資産売却損	68	―
固定資産除却損	6,574	589
減損損失	61,753	―
たな卸資産評価損	25,787	―
ゴルフ会員権評価損	―	1,100
貸倒引当金繰入額	40,752	―
整理損失引当金繰入額	14,575	―
リース解約損	269	―
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,937	―
特別損失合計	172,719	1,689
税金等調整前四半期純損失（△）	△145,793	△21,072
法人税、住民税及び事業税	12,694	14,444
法人税等調整額	△75,575	1,804
法人税等合計	△62,881	16,248
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△82,912	△37,321
四半期純損失（△）	△82,912	△37,321

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△82,912	△37,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,637	9,487
為替換算調整勘定	△12,401	10,000
その他の包括利益合計	△29,039	19,487
四半期包括利益	△111,951	△17,833
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,951	△17,833
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△145,793	△21,072
減価償却費	147,287	132,234
減損損失	61,753	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△34,119	△27,107
賞与引当金の増減額（△は減少）	△125,375	△83,035
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,297	△11,955
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△7,063	△838
整理損失引当金の増減額（△は減少）	14,575	－
災害損失引当金の増減額（△は減少）	－	△10,330
受取利息及び受取配当金	△2,930	△3,270
支払利息	7,289	5,187
為替差損益（△は益）	17,350	27,249
有形固定資産売却損益（△は益）	68	－
固定資産除却損	6,574	589
ゴルフ会員権評価損	－	1,100
売上債権の増減額（△は増加）	972,264	817,568
たな卸資産の増減額（△は増加）	△45,889	△347,365
仕入債務の増減額（△は減少）	△633,459	△400,938
リース解約損	269	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,937	－
その他	△105,874	157,175
小計	155,162	235,191
利息及び配当金の受取額	2,930	3,270
利息の支払額	△7,502	△5,486
法人税等の支払額	△200,278	△95,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	△49,688	136,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△71,188	△30,274
有形固定資産の売却による収入	405	－
有形固定資産の除却による支出	△5,108	－
無形固定資産の取得による支出	△276	△9,000
投資有価証券の取得による支出	△2,490	△2,546
投資有価証券の売却による収入	8,487	－
その他	△3,031	△4,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,202	△45,982

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△106,422	△116,422
配当金の支払額	△82,860	△83,265
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,465	△13,748
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,748	△213,435
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,787	△24,857
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△343,426	△147,280
現金及び現金同等物の期首残高	2,911,967	2,762,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,568,540	2,615,398

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。